

V 試験・成績について

1 試験の方法

試験は、筆記、レポートの提出、作品の提出などにより行います。なお、科目によっては、平常の学業成績をもって代えることがあります。

2 受験の資格

次に該当する者は受験資格がありません。

- ①学費の未納者。ただし、延納願を提出し、認められた者を除きます。
- ②履修登録をしていない者。
- ③出席が全授業回数の3分の2に満たない者。

3 筆記試験に関する注意事項

- ①筆記試験は試験期間に実施し、時間は原則として60分とします。受験に際しては、試験監督の指示に従ってください。
- ②試験時間は下記のとおりであり、通常の授業時間とは異なるので注意してください。
試験開始後30分以内の遅刻者には受験を許可しますが、時間延長は認められません。

試験時間(通常時)	
第1時限	9:10～10:10
第2時限	10:50～11:50
第3時限	13:10～14:10
第4時限	14:50～15:50
第5時限	16:30～17:30

退室は試験開始後30分から認めます。

- ③不正行為が明白となった場合、該当学生の該当科目試験は無効となり、再試験は認められません。
- ④試験中は学生証を机の上に提示してください。学生証を忘れた場合は試験開始前に学務課(教務)にて仮学生証の交付(初回無料、2回目以降有料)を受けてください。仮学生証は交付した当日のみ有効です。

4 追試験

試験当日にやむを得ない事由で受験できず、追試験を願い出た者が承認された場合、追試験を行います。時間割表の見間違い等本人の不注意によるものは対象となりません。

〈手続期間〉

当該科目の試験終了後1週間以内。追試験受験願に欠席理由の証明書(医師の診断書等)を添付して学務課(教務)に提出すること。

〈追試験料〉

原則として、追試験料2,000円が必要です。

ただし、「横浜美術大学試験に関する規程」第3条第2項に該当する場合は、免除になります。

〈日程等〉

その都度通知します。また当日欠席した場合は、不合格となります。

5 再試験

試験の結果、合格点にいたらず、担当教員の指示があった場合、再試験を行います。該当者・日程等についてはその都度通知します。

〈再試験料〉

再試験料 2,000 円が必要です。

6 成績の評価

①成績の評価は、100点を満点とし、下表のとおりとします。

ただし、「キャリアデザインⅢ（インターンシップ A）」「キャリアデザインⅢ（インターンシップ B）」「ボランティア講座」「古美術研修」「修復保存研修 A」「修復保存研修 B」については、合格または不合格の成績評価となります。

合 格				不合格
AA (90 点以上)	A (89 ~ 80 点)	B (79 ~ 70 点)	C (69 ~ 60 点)	D (59 点以下)
学修目標を十分に達成し、特に優れている。	学修目標を十分に達成している。	学修目標を概ね達成している。	学修目標に最低限到達している。	学修目標に到達していない。

②学業成績は試験の成績、平素の学修状況等を総合して、科目担当教員が評価します。担当教員による成績評価の方法については授業概要（シラバス）を参照してください。

③追試験の成績評価は、原則として得点の 80%とします。

④再試験に合格した場合の成績評価は、すべて 60 点とします。

7 成績の通知

成績は Web ポータルより確認できます。また、成績通知書を前期分は 9 月上旬に保証人（保護者）へ送付します。後期分は 4 年次は卒業時に手渡し、1～3 年次は 3 月中旬に保証人（保護者）へ送付します。GPA も記載されているので、その都度確認してください。

8 不合格・追試験・再試験該当者について

試験の結果、不合格または追試験・再試験該当者となった方は、発表日を含めて 5 日以内に限り、成績評価について学務課（教務）で問い合わせを受け付けます。

必修科目・選択必修科目が不合格となった場合は、再度登録して再履修する必要があります。

*その他試験・成績については「横浜美術大学履修規程」、「横浜美術大学試験に関する規程」を参照してください。

*採点調査願照会期間と不合格となった科目の理由については、Web ポータルでご確認ください。

9 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度

対象科目の総単位数にグレードポイントを掛けた点の総点を当該対象科目の総単位数で除し、その平均点を算出します。これを GPA (グレード・ポイント・アベレージ) 制度といいます。

対象科目は卒業の要件として履修する授業科目とします。ただし、成績評価が AA、A、B、C、D によらない科目は除きます。

グレードポイントは成績評価が AA は 4 点、A は 3 点、B は 2 点、C は 1 点及び D は 0 点とします。

これを式で表すと次のようになります。

$$\frac{(AA \text{ 修得単位数} \times 4) + (A \text{ 修得単位数} \times 3) + (B \text{ 修得単位数} \times 2) + (C \text{ 修得単位数} \times 1) + (D \text{ 評価科目単位数} \times 0)}{\text{卒業要件に該当する授業科目の総単位数 (D 評価科目含む)}}$$

①前年度 GPA が 2.0 未満の学生に対しては、個別に指導をすることがあります。また、コース変更には、原則として前年度 GPA が 2.0 以上が必要です。

②前年度 GPA が 3.7 以上の学生は、学力に余裕がある者として、当該年度は 1 年間に登録できる制限単位数を超えて履修登録が認められます。

③ GPA 制度による前年度の学業成績が特に優秀な学生のうち、各学年 5 名を上限に特待生として選考し、当該年度の授業料の全額又は一部を免除します。

④卒業認定者のうち、GPA 制度に基づく学業成績優秀者 3 名に対して、学長賞が授与されます。